

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】平成20年4月17日(2008.4.17)

【公開番号】特開2005-348853(P2005-348853A)
【公開日】平成17年12月22日(2005.12.22)
【年通号数】公開・登録公報2005-050
【出願番号】特願2004-170904(P2004-170904)
【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 1 5 A

【手続補正書】

【提出日】平成20年3月5日(2008.3.5)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数個の特定媒体を収容する収容部と、
遊技領域に設けられる作動口と、
その作動口に入球した遊技球を検出する遊技球検出手段と、
前記収容部により収容されている前記特定媒体を、前記遊技球検出手段による前記遊技
球の検出に基づいて放出する放出手段と、
該放出手段により放出された前記特定媒体を転動させる転動領域を有する受球部と、
該受球部の転動領域で転動された前記特定媒体を配列させる配列手段とを備え、
該配列手段により配列された特定媒体が特定の配列状態となった場合に、遊技者にとっ
て有利な遊技状態となるようにしたことを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の遊技機において、
前記受球部は、前記転動領域での特定媒体の転動に変化を与える変化付与手段を備えて
いることを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 8】

〔作用・効果〕請求項 1 に記載の発明によれば、収容部は、複数個の特定媒体を収容す
る。作動口は、遊技領域に設けられる。遊技球検出手段は、その作動口に入球した遊技球
を検出する。放出手段は、収容部により収容されている特定媒体を、遊技球検出手段によ
る遊技球の検出に基づいて放出する。受球部は、放出手段により放出された特定媒体を転
動させる転動領域を有する。配列手段は、受球部の転動領域で転動された特定媒体を配列
させる。配列手段により配列された特定媒体が特定の配列状態となった場合に、遊技者に
とって有利な遊技状態となる。したがって、放出された複数個の特定球がどのように配列
されるのかを、遊技者は楽しむことができる。したがって、遊技者にとって有利な遊技状
態となるか否かにおける遊技の興趣性を、さらに向上させることができる。その結果、興

趣性に優れた遊技機を提供することができる。また、遊技者にとって有利な遊技状態となるか否かの判定は、パチンコ機内部で予め決められたものであるかのような感じを受けることはなく、遊技に違和感を覚えず、面白味が減退することもない。その結果、遊技の興趣性を向上させることができる。